



給食会だより

第119号

〔公財〕川崎市学校給食会



〒210-0004 川崎区宮本町6番地（明治安田生命ビル4F）

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

平成28年度 立川市学校給食共同調理場視察報告 ～中学校「センター給食」の稼働を見据えて～

理事長 山田 雅太

いよいよ、来年、平成29年の9月から（仮称）川崎市南部学校給食センターが稼働します。給食会では、1年後のセンター稼働を見据えて、他都市の給食センターでは、どのような食材を、どのように供給しているのかという調査・研究を始めています。

今回は、立川市学校給食共同調理場を視察してきましたのでご報告します。

立川市学校給食共同調理場は、小学校12校と中学校希望者の約7000食を、2献立方式で供給しています。川崎市で考えると、ちょうど中部給食センターの規模だと思います。

さて、食材はどのようなものを供給しているのでしょうか。まず、今、高騰しているにんじんから話題が広がりました。立川市でもにんじんの値段が倍以上に値上がりし大変困っているそうです。ただし、この10月から給食費が値上げになるので、ホッとしているという話でした。ちなみに、小学校共同調理方式高学年の給食費は月額4300円から4700円に値上げになります。単独調理校（8校）は、やや値段が高く月額4800円になります。単独調理校では、学校で献立作成や見積、業者支払まで行うため、作業が大変だそうです。センターの物資は、ほとんど見積価格（入札）で決定します。中学校給食は、作業時間がないため「ムキ玉ねぎ」「凍結液卵」等を使用するが、小学校では、割卵器も備えているため、通常の卵を使用するとのことでした。



品物の納品は、当日朝6時30分から7時30分までに行うのが基本だそうです。前日納品の物資は、にんじん、玉ねぎ、じゃが芋、にんにく、調味料などです。前日納品は、前日の午前10時から11時と決められています。物資の納入が6時30分からということで、5時30分から納品担当の職員が出勤しています。検収の確認は8時15分から栄養職員が行うとのことでした。

また、給食物資の予備数もお聞きしました。川崎で考えている数と同様に1校あたり5個準備していました。

しかし、緊急な異物対応を考え、センターで10個ほど確保していることが参考になりました。川崎市の小学校給食では当たり前に使われている「冷凍みかん」は、洗浄されているかどうか確認できないため基本的には使っていません。センター給食で使用する果物は、個袋入り冷凍果物を学校に直送しているそうです。

百聞は一見にしかず。行って、見て、聞いて、感じる事が大切だと思わされた一日でした。次回は1万食以上作っている給食センターを視察するのを感じています。



朝晩の冷え込みに、毛布の温もりが欲しくなる季節となりました。各学校におきましては、後期がスタートし、まさに文化の秋を感じさせるいろいろな行事や活動が真っ盛りのことと思います。また、日頃より、学校給食会の業務につきまして、多大なご支援ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

学校給食会では安全かつ安心な給食を提供するために「学校給食用物資規格基準書にそった給食物資の調達がなされているかの検査・確認・指導・改善」を、厳密な検査が可能な会社に依頼して行っております。今回は、その取り組みにつきまして紹介いたします。

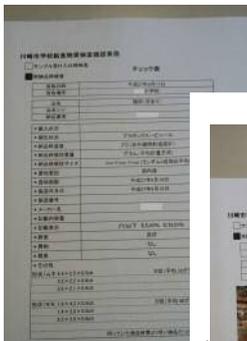
① 物資選定委員会に立ち合い、その場で検査したり、サンプルを持ち帰り検査したりします。



② 指定された小学校（給食物資搬入口）で、業者の到着を待ちます。



③ 学校の担当者立ち合いの下、物資が運ばれてきた状況を調査・確認します。



④ 運ばれてきた物資のサンプルを持ち帰り検査します。物資選定委員会のサンプルと比較も行います。

○物資選定委員会のサンプルは、梱包状況や固体サイズ等7項目、学校へ納品された物資は、賞味期限等を含め、13項目について調査・検査します。

○記載表示と実際に納入された肉にサイズの違いがある。脂身の割合が多い。肉の厚みが規格外の物が入っている。等表示との差異があれば、別途報告があります。

⑤ 検査結果等は、月別に、学校給食会へ、冊子で報告されます。

相次ぐ台風の接近・上陸、学校給食へもパンチ！

今年の9月・10月は、たくさんの台風が日本に近づいたり上陸したりしました。連日、日本各地で被害が生じ、ライフラインばかりでなく、農作物や酪農に甚大な被害が生じました。

川崎市の学校給食にも、大きな影響が出ました。しばらくの間使える材料に制限がかかることが予想されますが、日々の学校給食の質が低下することの無いよう、最善を務めてまいります。